

# 病院と地域をむすぶ



2016年10月号

発行：総合病院 南生協病院

9月実績

一日外来患者数：859.5人 一日入院患者数：249.3人 ベッド稼働率：87.6%  
救急車：240台 手術数：110件 紹介件数：473件  
10月もじゃんじゃん班会開催しています！

## 「最新広角観察システムリサイト搭載手術顕微鏡」導入で安全かつ効率的に

H26年度より、最新広角観察システムのツァイス社製リサイトを搭載した「手術顕微鏡」を導入、極小切開手術と併用し、より安全かつ効率的な手術を提供できるようになりました。当院では、主な手術対象疾患は、白内障、緑内障、黄斑部疾患を含む網膜硝子体です。現在、白内障手術年間400件、網膜硝子体手術45件、緑内障手術10件前後と手術件数も徐々に増加しております。また、白内障手術も1泊2日、硝子体手術2泊3日から1週間で行っています。

なお、全身麻酔（15歳以下の小児、認知症、精神発達遅滞、統合失調症等精神疾患）、涙道疾患、眼瞼疾患、斜視手術は近隣の大型病院にご紹介させて頂いております。

一般的な眼科診療から専門性の高い治療・手術まで、地域の皆様に信頼できる眼科診療を提供出来るよう努めてまいります。

眼科管理医長 二村 裕紀子

## うすしおと高血圧のはなし

今年度、南生協病院はHPH（ヘルスプロモーションホスピタル&ヘルスサービス）に取り組んでいます。治療だけではなく保健予防や健康づくりに貢献する病院のことです。

今回は『高血圧により引き起こされる病気』についてお話をしたいと思います。高血圧の状態が続くと、常に血管に負担がかかり、傷みやすくなるため、血管壁を厚くして動脈硬化をおこします。動脈硬化によって血管の弾力性が失われ、血液の流れが悪くなります。また、高い圧力で血液を送り出さなくてはならないため、心臓にも負担がかかり、心不全を起こしてしまいます。高血圧は、心臓と血管に異常を引き起こし、その結果血液を多く必要とする脳や心臓、多くの臓器に悪影響を及ぼします。特に怖いのは、脳卒中（脳梗塞・脳出血）、心筋梗塞です。ひどいときには命を失ってしまいます。高血圧は自覚症状がありません。定期的に血圧を測る、健康診断を受ける、塩分の多いものは少量にするなど高血圧を予防していくことが大切です。

5A病棟課長 石川和美

## 目の健康を守るお手伝いをしています

眼科専門の検査員で、現在当院には2名の視能訓練士（ORT）がいます。視能訓練士は昭和46年につくられた国家資格をもつ医療技術者です。医師の指示のもとに視力検査、視野検査等を行うと共に斜視や弱視の訓練にも携わっています。

「なんだか見えにくい」と患者様が訴えた場合、視力や眼鏡だけがその原因とは限りません。「近くが見えにくい」「ゆがんで見える」「見える範囲（視野）が欠けている」など症状は様々です。視能訓練士は、さまざまな眼科医療機器を使って検査し、視機能を診断し、治療に活かします。

例えば眼鏡を作るとき、ただ見やすいだけで満足して頂けるでしょうか？視能訓練士は

“より快適で疲れにくい” “それぞれの患者様にとって使いやすい”眼鏡を処方するように心がけています。

人間の一生に関わる「目」の健康管理。子供からお年寄りまで世代を超えて皆様の大切な目の健康を守るお手伝いをしていきたいと考えています。

眼科 視能訓練士 行俊 励